ES server

ユーザー マニュアル



ES server、ソフトウェア バージョン 7.9

ユーザー マニュアル、第1版： 2022 年 11 月 4 日、改訂：2024 年 2 月 10 日

日本語 (Japanese)

目次

1 はじめに 4
1.1 使用目的 4
1.2 使用上の注意 4
1.3 対象ユーザー 4
1.4 臨床上の利点 4
1.5 このマニュアルで使用される表記規則 5
1.6 提案されている回避策 5
1.7 重要な制限事項および警告事項 5
1.8 一般的なサイバーセキュリティに対する推奨事項 6
2 ハードウェアの要件 7
3 ES server に接続されたデバイス 7
3.1 接続デバイスの種類 7
3.2 リモート サーバ接続 8
3.3 接続デバイスの数とサーバの応答時間 10
3.3.1 設定 1 – 基本 10
3.3.2 設定 2 – 高容量 10
4 サーバ機能 11
4.1 ES server ソフトウェア 11
4.2 Instrument Monitoring Client（装置監視クライアント） 12
4.3 バックアップサービス 13
4.4 Web インタフェース 13
4.5 EmbryoViewer ソフトウェアによるコンピューターへのインタフェース 14
4.6 インキュベーターへのインタフェース 14
4.7 外部システムへのインタフェース（例：診療記録統合） 15
4.8 サーバ機能概要図 16
5 ライセンス 17
6 異なるサーバと通信するための EmbryoViewer ソフトウェアの設定 17
7 ES server と EmbryoViewer の間の接続エラー 19
7.1 サーバが起動していない 19
7.2 データ編集中の ES server への接続切断 20
8 マークとラベル 22
9 廃棄物の処理 22
10 連絡先情報 23

CohortView、CulturePro、EmbryoScope、EmbryoSlide、EmbryoViewer、Guided Annotation、iDAScore、KIDScore は Vitrolife Group の所有する商標または登録商標です。

©2024 Vitrolife A/S. All rights reserved.

1 はじめに

このマニュアルでは、ES server の基本について説明します。このマニュアルを理解するためには、CulturePro システム および/または EmbryoScope のタイムラプス システム（バージョン D、+、Flex、8）の動作に関する基本的な理解と、一般的な IT および特にネットワーク設定に関する高度な知識が必要となります。

ES server では、医療機関内で共通のデータを更新および表示できます。これは、クライアント-サーバ ネットワークを設定することによって実現されます。サーバは、データを保管し、接続されたデバイスとの間のデータ フローを制御する中央ユニットとして機能します。このサーバは、複数の CulturePro インキュベーター、EmbryoScope タイムラプス インキュベーター（バージョン D、+、Flex、8）、EmbryoViewer ソフトウェアがインストールされたコンピューターとモバイル ソリューションに接続できます。接続できるデバイスの詳細については、第 3 項を参照してください。

ES server は、欧州医療機器規則 (EU) 2017/745 の要件に準拠するクラス I 医療デバイスです。

1.1 使用目的

ES server は、不妊治療の一環としてインキュベーターとの併用を目的としたソフトウェア パッケージです。

1.2 使用上の注意

ES server ソフトウェアはデータの保存、アーカイブ、および転送用の情報システムです。さらに ES server ソフトウェアは、モデルを管理し、画像データおよび胚の成長パラメータに基づく計算を実行する機能を備えています。

1.3 対象ユーザー

ES server の主要な対象ユーザーは、IVF 医療機関のシステム管理者です。

1.4 臨床上の利点

ES server ソフトウェアは、医療デバイスのアクセサリとして、システムに接続されたソフトウェアとインキュベータを使用できるようにすることで、間接的な臨床機能を提供し、それによって次をサポートします：

- 着床率/妊娠率の向上
- 流産率の低減

1.5 このマニュアルで使用される表記規則

使用上の制限事項：ES server の操作にあたって遵守すべき特定の識別された人物または目的または規制上の制限事項に制限された機能または動作。

警告：指示が無視された場合、誤ったデータや回復不能なデータ損失が発生する可能性がある状態または動作。

注意：ES server の使用前または使用中に必要な重要な情報。

注記：明確にするのを目的に提供された説明または追加情報。

1.6 提案されている回避策

ソフトウェアの既知の異常や制限と、提案されている回避策の詳細については、Vitrolife からのこの問題に関する各資料を参照してください。

1.7 重要な制限事項および警告事項

ES server の適正な使用を確保するため、資格のある医療機関担当者が必ず次の制限事項および警告事項に従って本機器を操作してください。ユーザーは、サーバを操作する資格があり、現地の資格基準に従ってサーバ使用に関する手順を実行する資格を持っている必要があります。

サーバの管理者は全員、必ず本ユーザー マニュアルをよく読んで理解し、次の使用上の制限事項に従い、警告事項をよく読み、操作方法を熟知したうえでご使用ください。

ES server ソフトウェアと関連ソフトウェアの操作による直接的または間接的な事故により、患者、操作者または保守作業員が怪我をした場合は、速やかに Vitrolife にご報告ください。サーバに関連して発生した重大な事故は、ユーザーが拠点とする加盟国の所管官庁に報告する必要があります。

使用上の制限事項
• サーバには使用制限があり、ご使用いただけるのはトレーニングを受け、操作法を熟知した医師や医療スタッフのみとします。トレーニングを受けていないスタッフが操作すると、設定ファイルやライセンス ファイルを誤って変更してしまう恐れがあります。このため、サーバは必ず患者や一般の方の立ち入りが禁じられた安全な場所に設置してください。

警告
• 安全な外付けハード ディスクに画像と患者データをバックアップするためのセットアップは、医療機関が責任を負うものとします。

警告
• サーバと接続されたデバイスとの間で送信されるデータは、常に不正アクセスから保護される必要があります。現地の法律やセキュリティ ポリシーにより、医療機関は強力な暗号化のような特定の方法で送信データを保護する必要がある場合があります。医療機関は、不正アクセスに対して送信データを保護し、データ送信時に現地の法律やセキュリティポリシーを遵守する責任を全面的に負うものとします。

警告
• サーバは、Vitrolife 認定サービス担当者によってインストールされるものとします。Vitrolife によって特別に指示され、Vitrolife 認定サービス担当者の厳格な監督と指導下でのみという場合を除き、医療機関 IT 部門または他のユーザーによって再インストールされないものとします。 • ES server をインストールしたコンピューターは Vitrolife 認定サービス担当者が設置した場所から移動しないものとし、移動する場合は正規代理店に依頼するか、または書面により明示された許可を得てください。

警告
• サーバの設定は、Vitrolife 認定サービス担当者によってインストール時に行われます。 • サーバの設定を変更すると、サーバが正常に機能しなくなり、サーバが外部からの侵入に対して脆弱になる恐れがあります。

警告
• サーバのインストール後は、機器番号もサーバに接続されているデバイスのコンピューター名も変更しないでください。データが回復不能になる恐れがあります。

1.8 一般的なサイバーセキュリティに対する推奨事項

ユーザーには、機器を意図したユーザー環境で設計どおりに機能させるために、サイバーセキュリティのリスクを軽減するための次の対策を講じることが推奨・期待されます。

- スタッフへのサイバーセキュリティの検出に適切なトレーニングの徹底
- 権限のないユーザーによる機器への物理的なアクセスの防止
- 強固なパスワードを使用（大文字と小文字の両方、数字、特殊文字を 1 つ以上含んだ最低 8 文字）

ユーザーは、サイバーセキュリティの脆弱性または疑いのあるセキュリティイベントに気づいたら、直ちに Vitrolife A/S に通知する必要があります。

サイバーセキュリティのリスク軽減についての詳細は、Vitrolife が提供する別途ガイドを参照してください。

2 ハードウェアの要件

ES server は、サーバの設定に応じて、最低要件以下のコンピューターにインストールされます。さまざまな設定の仕様については、第 3.3 項を参照してください。

- Microsoft Windows をインストールしたコンピューター
- クアッドコア 3 GHz プロセッサ
- 8 GB RAM
- 2 ギガビットLAN接続
- OS 用 240 GB ハード ディスクおよびソフトウェア
- データ保管用ハード ディスクの容量は、第 3.3 項で定められた設定により異なります
- IEC 61010-1 および IEC 61326 規格（または相当の規格）の要件への準拠

3 ES server に接続されたデバイス

ES server は、データを保管し、接続されたデバイスとの間のデータフローを制御する中央ユニットとして機能します。接続されているデバイスはすべて、サーバ上の同じデータにアクセスできます。ユーザーは、ユーザー権限（EmbryoViewer ソフトウェア上で設定）の許可によって、データを編集または表示することができます。サーバが医療機関にインストールされている場合、EmbryoViewer ソフトウェアの全ユーザーは、起動時にログインする必要があります。

3.1 接続デバイスの種類

以下のデバイスが ES server に接続可能です。

- EmbryoViewer ソフトウェアおよび/または Vitrolife Technology Hub がインストールされているコンピューター
- CulturePro インキュベーター
- EmbryoScope のタイムラプス インキュベーター（バージョン D、+、Flex、8）

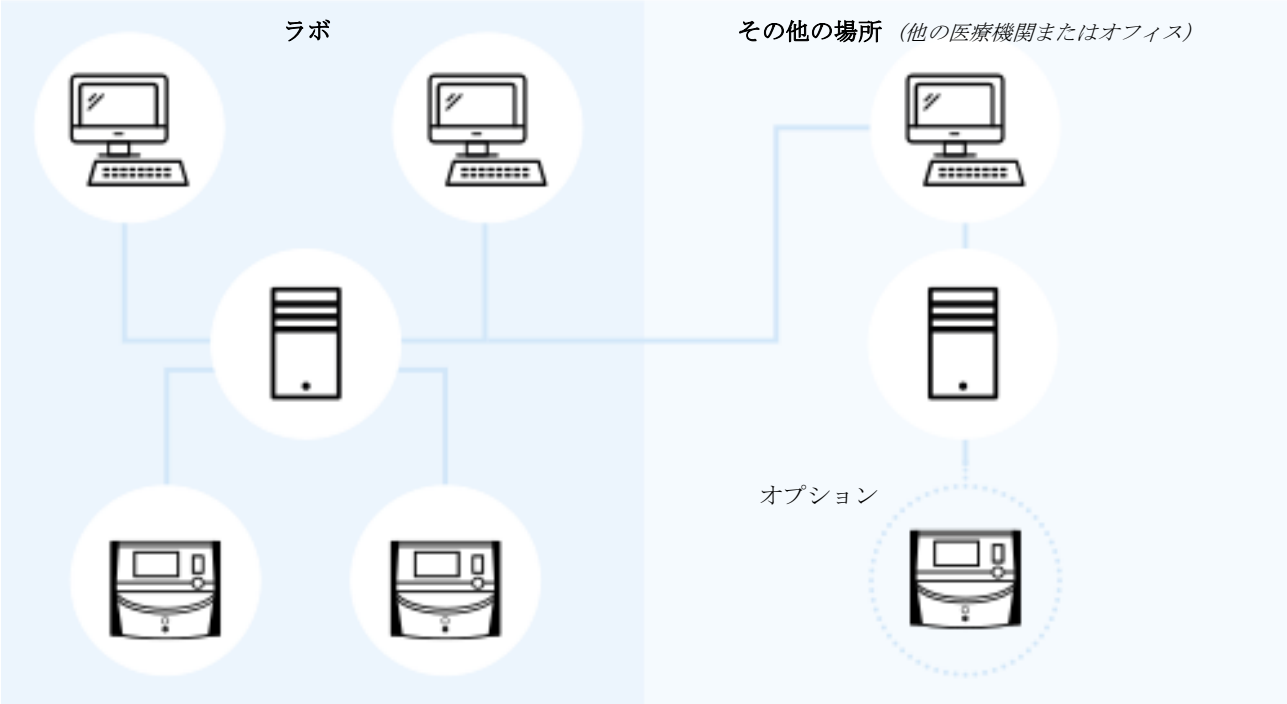


図 1: ES server に接続されたデバイス

3.2 リモート サーバ接続

EmbryoViewer ソフトウェアのユーザーは、ログイン時に ES server の場所をリモート オフィスまたは医療機関に選択できます。これで、遠隔地にある医療機関のデータを表示し、変更することができるようになります（ユーザーの権限によります）。

次の要件が満たされている場合、ユーザーは遠隔地のサーバに接続できます。

- EmbryoViewer ソフトウェアが、Vitrolife で複数のサーバ用に設定されている。
- 安全なリモート接続が、各場所の間で確立されている。
- ユーザーが EmbryoViewer ソフトウェアへのログイン時にリモート サーバを選択する。

注記
• サーバは相互に通信できないため、共通のデータのプールを診療所間で共有できます。 • EmbryoViewer ソフトウェアは一度に 1 つのサーバのみにログオンし、そのサーバのデータにアクセスできます。

接続デバイスは、以下に示されるように相互に通信できます。

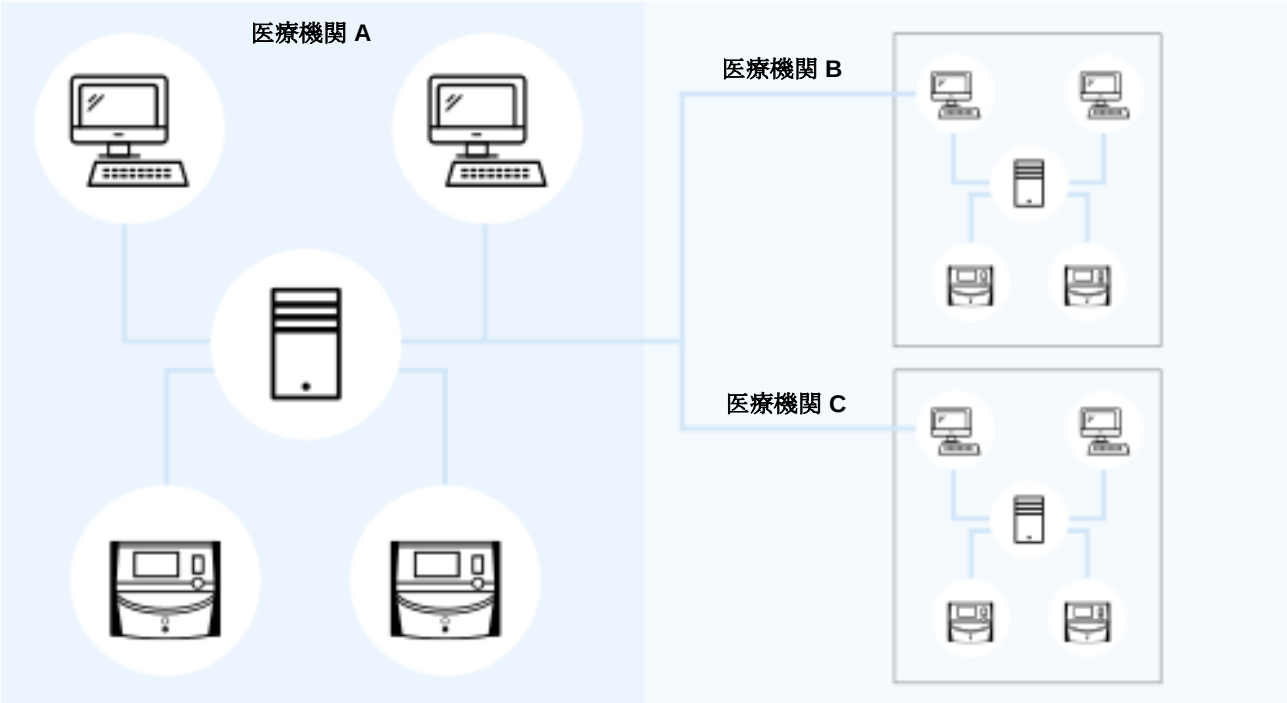


図 2: 複数の ES server を使用したセットアップ

図 2 では、3 台の異なるサーバが同一グループ内の各医療機関に 1 台ずつインストールされています。

EmbryoViewer ソフトウェアがある場所のサーバと通信するように設定されている場合、別の場所にあるサーバと自動的に通信することはできません。

コンピューターが別または追加サーバと通信する必要がある場合は、EmbryoViewer ソフトウェアの設定ファイルを変更する必要があります。EmbryoViewer ソフトウェアの設定ファイルの詳細については、第 6.項を参照してください。

設定に関係なく、各コンピューターは一度に 1 台のサーバとのみ通信できます（図 3 を参照）。EmbryoViewer ソフトウェアにログインするとき、ユーザーはログオンするサーバを選択する必要があります。

以下の例では、医療機関 B で EmbryoViewer ソフトウェアを実行するコンピューターの 1 台が、医療機関 A のサーバにログオンされています。この場合、医療機関 B のユーザーは、医療機関 B にもインストールされているサーバのデータにはアクセスできません.

この設定では、図 3の淡色表示部分は、ユーザーにアクセス不可能です。

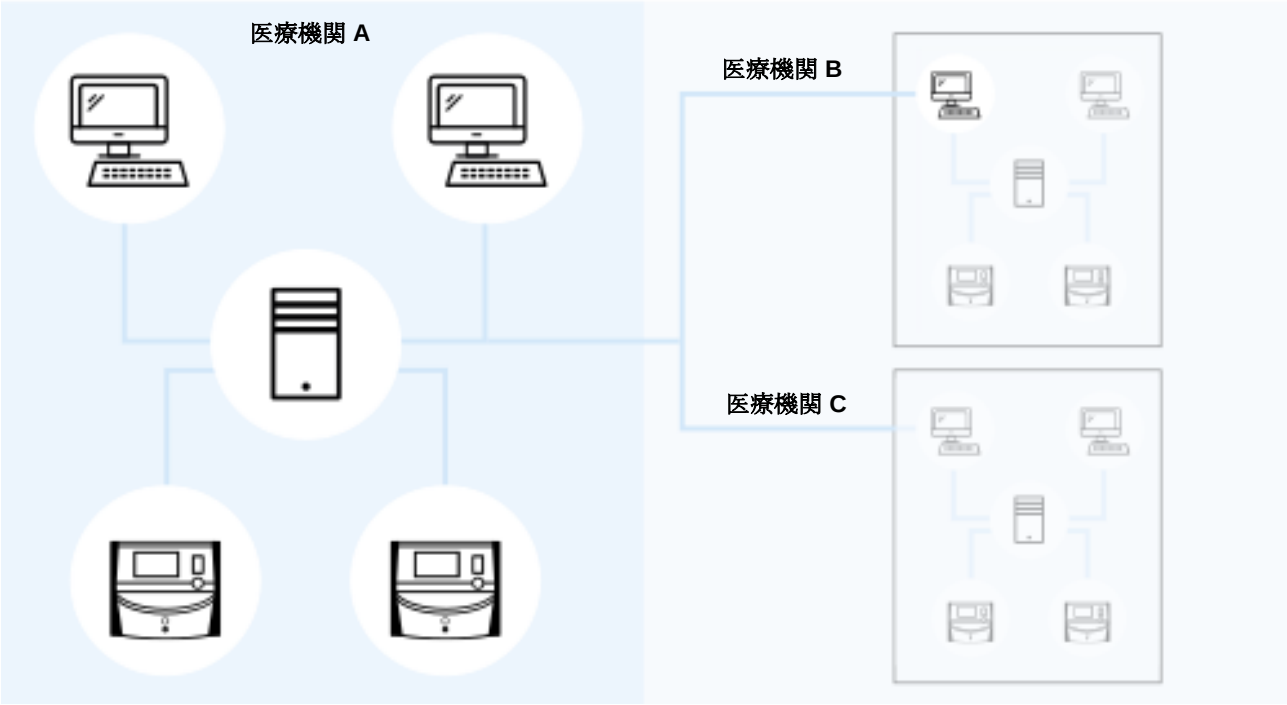


図 3: 医療機関 A の ES server に接続された医療機関 B の EmbryoViewer ソフトウェア

3.3 接続デバイスの数とサーバの応答時間

2 種類の異なるサーバ設定があります。設定はソフトウェアベースです。サーバに接続できるデバイスの最大数は、取得した設定によって異なります。

3.3.1 設定 1 – 基本

- EmbryoViewer ソフトウェアおよび/またはVitrolife Technology Hub をインストールしたコンピューター 1台
- EmbryoScope+/Flex 1 台、または
  CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 2 台

この設定は、ES server、ES server+、VTH server、および VTH server+ のハードウェア構成と互換性があります。

3.3.2 設定 2 – 高容量

- EmbryoViewer ソフトウェアおよび/または Vitrolife Technology Hub をインストールしたコンピューター 4台
- CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 16 台、または
  CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 14 台 と EmbryoScope+/Flex 1 台、または

CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 12 台 と EmbryoScope+/Flex 2 台、または
CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 10 台 と EmbryoScope+/Flex 3 台、または
CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 8 台 と EmbryoScope+/Flex 4 台、または
CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 6 台 と EmbryoScope+/Flex 5 台、または
CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 4 台 と EmbryoScope+/Flex 6 台、または
CulturePro/EmbryoScope（バージョン D）/EmbryoScope 8 2 台 と EmbryoScope+/Flex 7 台、または
EmbryoScope+/Flex 8 台

この設定は、ES server+ および VTH server+ のハードウェア構成と互換性があります。

指定より多くのデバイスを接続しないことを強く推奨します。こうすると、サーバのパフォーマンスが低下する恐れがあります。これは、サーバが要求に応答するのが遅くなる可能性があることを意味します。Vitrolife は、指定より多くのデバイスが接続された場合、通常作動を保証しません。

4 サーバ機能

ES server は、多様なネットワーク ポートとプロトコルを使用し、クライアント コンピューター、インキュベーター、その他の接続デバイスと通信します。専用ファイアウォール とフィルタはネットワークを安全に保護するために使用されますが、これらのテクノロジーが サーバで使用されるポートとプロトコルを遮断するように設定されている場合、サーバは正当な要求に応答できない場合があります。サーバが正当なクライアント要求に応答できない場合、正常に機能しないか、まったく機能しない可能性があります

以下の項では、インタフェース/サービスの名前と場所など（関連する場合）、サーバ セットアップの各サービスとインタフェースの簡単な説明を提供し、それぞれに必要なポートとプロトコルを表示します。

4.1 ES server ソフトウェア

ES server ソフトウェアはサービスとして実行されます。サーバは、通信の中央ユニットとして機能し、すべての接続デバイスとの間のデータフローを制御します。このサービスは、これらの接続デバイスから作成または更新されたデータも保存します。

サービス名	ロケーション	ポート	プロトコル	ネットワーク カード
EmbryoServer	N/A	N/A	N/A	N/A

サービスを開始/停止するには、**Computer Management**（コンピューター管理）**-> Services and Applications**（サービスとアプリケーション）**-> Services**（サービス）に移動します。**EmbryoServer** を選択し、**Actions**（操作）ツールバー **-> Start**（開始）**/Stop**（停止）をクリックします。

4.2 Instrument Monitoring Client（装置監視クライアント）

Instrument Monitoring Client（装置監視クライアント）は、2 つのサービスで構成され、医療機関から Vitrolife サーバに技術装置データを送信します。

Vitrolife IMS Data Service（データサービス）：ES server に接続されたインキュベーターからデータを受信します。

Vitrolife IMS Client Service（クライアントサービス）：Vitrolife IMS Data Service（データサービス）から受信したデータを Vitrolife サーバに送信します。

インキュベーター内の培養用ディッシュの数、温度、ガス消費量、ハード ディスクの使用済み容量などの技術データのみが Vitrolife にアップロードされます。患者データは IMS サービスによってアップロードされることはありません。データを送信する目的は、サービス技術者に作動データを提供し、それにより、医療機関での技術者のサービス訪問を最適化することです。

IMS サービスからのデータは、継続的に Vitrolife に送信されます。サービスでは、医療機関にインストールされたインキュベーターごとのアップロード速度が 0.5 Mbps 以上のデータ接続を必要とします。つまり、2 台のインキュベーターがある場合、データ接続のアップロード速度は 1 Mbps 以上である必要があります。ご使用のファイアウォールは、Instrument Monitoring Client（装置監視クライアント）が中断されることなく、安定した接続で実行できるようにする必要があります。

Vitrolife IMS Data Service (データサービス) は、接続されたインキュベーターから受信したデータのキューを作成します。サービスが中断された場合、サービスが再開された時点でインキュベーターからのデータを引き続き受信します。

Vitrolife IMS Client Service（クライアントサービス）が中断された場合、再起動時にキュー内で待機しているすべてのデータを引き続き送信します。

サービス名	ロケーション	ポート	プロトコル	ネットワークカード
Vitrolife IMS Data Service（データサービス）	N/A	N/A	N/A	N/A
Vitrolife IMS Client Service（クライアントサービス）	N/A	80	Http	No. 1

サービスを開始/停止するには、**Computer Management**（コンピューター管理）**-> Services and Applications**（サービスとアプリケーション）**-> Services**（サービス）に移動します。**Vitrolife IMS Data Service/Vitrolife IMS Client Service**（Vitrolife IMS データ サービス/（Vitrolife IMS クライアント サービス）を選択し、**Actions**（操作）ツールバー **-> Start**（開始）**/Stop**（停止）をクリックします。

4.3 バックアップサービス

警告
• 安全な外付けハード ディスクに画像と患者データをバックアップするためのセットアップは、医療機関が全面的に責任を負うものとします。医療機関は、Windows オペレーティング システムに統合されたバックアップ プログラム、スクリプト、外部バックアップ ツールのいずれかの使用を決定することができます。

ES server は、データを自動的にバックアップおよび保護する機能を統合していません。あらゆるデータの安全な保存の確認、および定期的なデータ バックアップを実行するプログラムの選択は医療機関が全面的に責任を負うものとします。したがって、サーバに適切なバックアップ プログラムをインストールする必要があります。

具体的なニーズに対応するプログラムの選定に加え、データのバックアップを実行する頻度も決定する必要があります。バックアップは毎日実行することをお勧めします。

サービス名	ロケーション	ポート	プロトコル	ネットワーク カード
医療機関が適切なプログラムを選択	N/A	N/A	N/A	N/A

4.4 Web インタフェース

Web インタフェースは、ウェブベースのアプリケーションと ES server 間の通信をサポートします。Web インタフェースは、たとえば、新しいライセンスをサーバにアップロードするときに使用されます。

インタフェース名	ロケーション	ポート	プロトコル	ネットワーク カード
N/A	N/A	4010	Http	No. 1

4.5 EmbryoViewer ソフトウェアによるコンピューターへのインタフェース

EmbryoViewer ソフトウェアを実行するコンピューターへのインタフェースは、接続されたコンピューターから要求されたデータを送信し、これらのコンピューターから新規および更新データを受信します。新規または更新データがコンピューターから受信されると、サーバはそれを中央データベースに保管し、その特定のサーバに対してライセンスを有する他ユーザーによる共有が可能となります。

処理はリアルタイムで実行されます。データは追加、更新、削除かつ EmbryoViewer ソフトウェアに保存されるとすぐに、サーバ データベースが更新されます。

インタフェース名	ロケーション	ポート	プロトコル	ネットワーク カード
N/A	N/A	3010	所有者	No. 1

4.6 インキュベーターへのインタフェース

インキュベーターへのインタフェースは、接続されたインキュベーターから要求されたデータを送信し、またそれらから新規および更新データを受信します。新規または更新データがインキュベーターから受信されると、サーバはそれを中央データベースに保管し、他ユーザーによる共有が可能となります。

処理はリアルタイムで実行されます。データが追加、更新、削除かつインキュベーターに保存されるとすぐに、サーバデータベースが更新されます。

インキュベーターは特別なケアと保護が必要なため、別のネットワーク カードを使用します。ウイルス対策プログラムなどでは動作しません、そのため、インターネットに接続すべきではありません。

インタフェース名	ロケーション	ポート	プロトコル	ネットワーク カード
N/A	N/A	3000	所有者	No. 2

4.7 外部システムへのインタフェース（例：診療記録統合）

外部システムへのインタフェースは、EmbryoViewer ソフトウェアと外部システムとの統合を可能にするパブリック APIです。例：医療機関電子カルテ システム。意図したとおりに機能するため、外部システムプロバイダは、、この API と統合する準備をしておく必要があります。

このインタフェースは、接続されたシステムにデータを送信し、これらのシステムから新規および更新データを受信します。外部システムから新規または更新データが受信されると、そのデータは中央データベースに保管され、EmbryoViewer ソフトウェアのユーザーとの共有が可能になります。

処理はリアルタイムで実行されます。データが追加、更新、削除され、保存が完了すると、サーバ データベースが更新されます。

サービス名	ロケーション	ポート	プロトコル	ネットワークカード
Vitrolife ES パブリック API	N/A	4000	Https	No. 1

サービスを開始/停止するには、**Computer Management**（コンピューター管理）**-> Services and Applications**（サービスとアプリケーション）**-> Services**（サービス）に移動します。**Vitrolife ES Public API** を選択し、**Actions**（操作）ツールバー **-> Start**（開始）**/Stop**（停止）をクリックします。

4.8 サーバ機能概要図

次のイラストは、サーバ機能の概要を示しています。

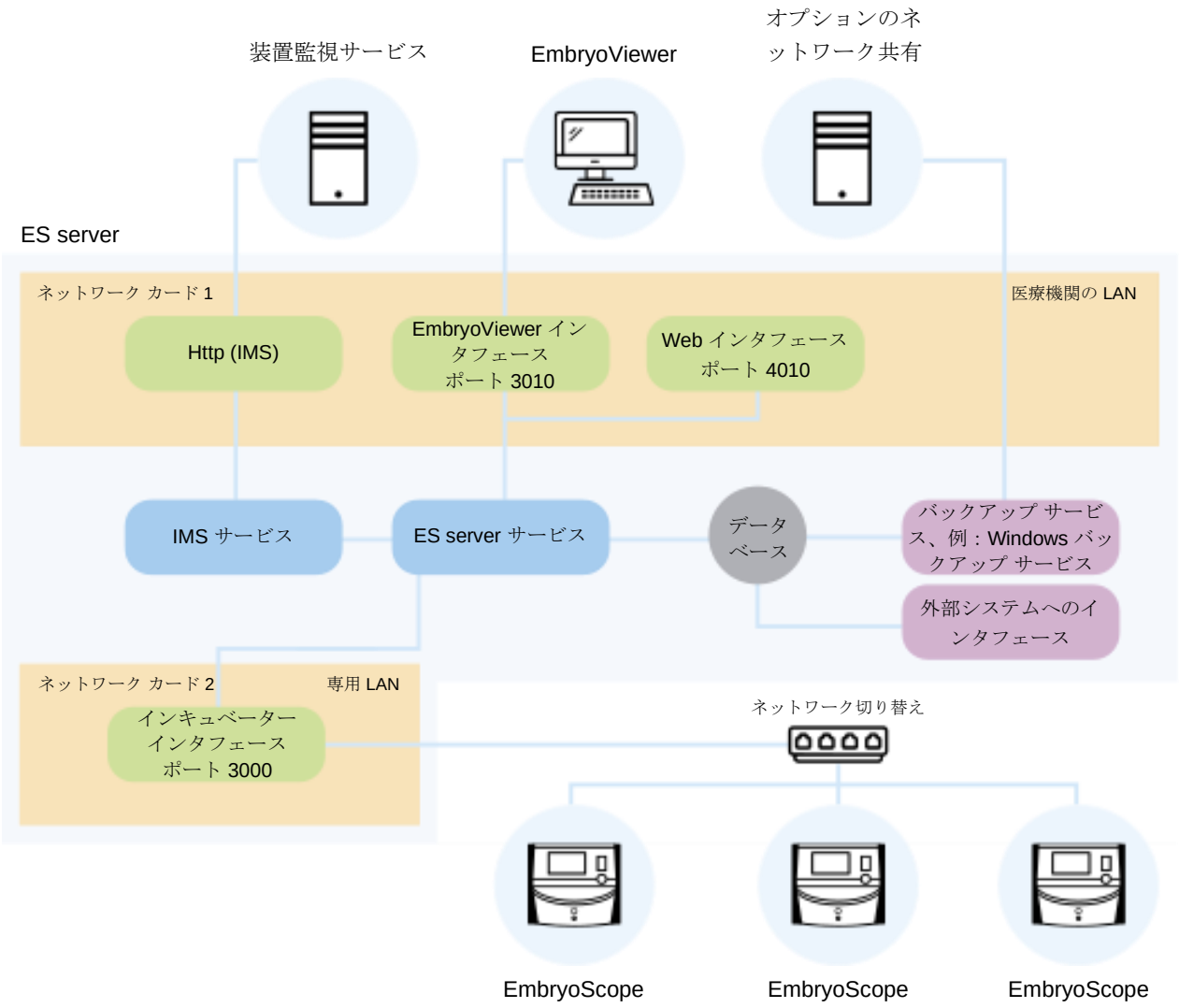


図 4: サーバ機能

第 3.3 項の CulturePro、EmbryoScope バージョン D、EmbryoScope+、EmbryoScope Flex または EmbryoScope 8 での代替設定を参照してください。

5 ライセンス

ES server を使用するためには、EmbryoViewer ソフトウェアを実行し、サーバにアクセスする必要があるすべてのコンピューターのライセンスを、サーバにインストールする必要があります。

サーバが Vitrolife 認定サービス担当者によって医療機関に初めてインストールされるとき、ライセンス ファイルもサーバ上に配置されます。以下の場合、後で新しいライセンス ファイルが必要になります。

- ライセンスを含むファイルが失われているか破損した場合。
- いずれかのコンピューターの EmbryoViewer ソフトウェアが、別サーバまたは追加サーバにアクセスできるようにする必要がある場合。

新しいライセンスが必要な場合、また、既存のライセンスで問題が発生した場合は、Vitrolife までお問い合わせください。

注意
• ライセンス ファイルを変更または削除しないでください。ご使用のライセンスが無効になり、サーバへのアクセスが制限されます。この場合、サーバはクライアント コンピューターまたはモバイル デバイスからのアクセスを許可しません。サーバには、新しいライセンス ファイルをインストール可能な Web ブラウザからのみアクセスできます。Vitrolife サポート チームまでお問い合わせください。

6 異なるサーバと通信するための EmbryoViewer ソフトウェアの設定

警告
• EmbryoViewer ソフトウェアは、Vitrolife 認定サービス担当者によるインストール時に設定されます。 • ソフトウェアの設定を変更すると、ソフトウェアが正常に機能しなくなり、サーバが外部からの侵入に対して脆弱になる恐れがあります。

ES server および EmbryoViewer ソフトウェアは、インストール時に設定されます。通常、設定ファイルへの変更は行うべきではありません。

但し、特定のコンピューターを別または追加サーバと通信させる場合は、EmbryoViewer ソフトウェアの設定ファイルを変更する必要があります。

設定ファイルは Viewer_d.ini と命名されます。このファイルは、Viewer_d.exe ファイルと同じディレクトリに配置されます。

ファイルに含まれるセクションは 1 つだけです。[Servers]（サーバ）。このファイルからは、EmbryoViewer ソフトウェアが使用可能なサーバのリストを読み込みます。ファイルの形式は以下のとおりです。

server name=ip_address:port number

“Ip_address”（ip_アドレス）はサーバの IP アドレスで、“port number”（ポート番号）はサーバが EmbryoViewer ソフトウェアを実行しているコンピューターとの通信に使用するポートを指定します。

“server name”（サーバ名）は、EmbryoViewer ソフトウェアのログイン画面の **Database**（データベース）フィールドに表示される名前です。



図 5: EmbryoViewer ソフトウェアのログイン画面

以下の例では、追加サーバがこの設定ファイルに追加されています。

[Servers]（サーバ）
ローカル=192.168.0.10:3010
医療機関 A ES server=192.168.1.10:3010

設定ファイルに新しい行（下の赤い行）を挿入して、サーバを追加します。

[Servers]（サーバ）
ローカル=192.168.0.10:3010
医療機関 A ES server=192.168.1.10:3010
医療機関 B ES server=192.167.1.10:3010

サーバの IP アドレスが変更された場合は、この設定ファイルの IP アドレスも変更する必要があります。また、Viewer_d.ini ファイルで指定された IP アドレスとポート番号は、サーバ設定を含む EmbryoServer.ini ファイルの ViewerTransport セクションのデータと一致する必要があります。

注記
• 特定のコンピューターを別のサーバと通信させるために EmbryoViewer ソフトウェアの設定ファイルを変更する場合は、サーバ上のライセンス ファイルも更新する必要があります。Vitrolife サポート チームまでお問い合わせください。

7 ES server と EmbryoViewer の間の接続エラー

EmbryoViewer ソフトウェアを使用するためには、ES server と EmbryoViewer ソフトウェアの間に接続が必要です。接続がない場合は、ソフトウェアはエラーを表示します。

7.1 サーバが起動していない

EmbryoViewer ソフトウェアを起動した時点で ES server に接続されていない場合、プログラムはエラーメッセージを表示します。

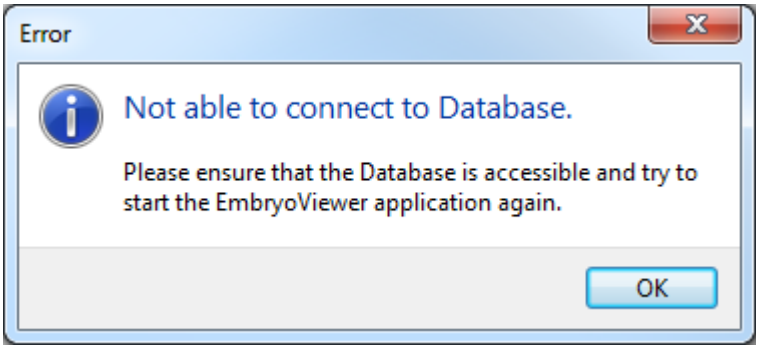


図 6: EmbryoViewer ソフトウェアと接続がない

サーバはサービスとしてインストールされます。したがって、このエラー メッセージが表示された場合は、EmbryoServer サービスが開始されていることを確認してください。

Control Panel -> **System and Security** -> **Administrative Tools** -> **Services**（サービス）へ移動してください。

このサービスについての情報は、第 4.1 項を参照してください。

7.2 データ編集中の ES server への接続切断

データを編集中にサーバへの接続が失われた場合、EmbryoViewer ソフトウェアはログイン画面に以下のメッセージを表示します。



図 7: ログイン画面の “No connection”（接続していません）メッセージ

EmbryoViewer ソフトウェアは自動的にサーバへの接続再確立を試みます。これが完了しなかった場合は、メッセージが提供するガイドラインに従ってください。

- ネットワーク ケーブルが正しく差し込まれていることを確認してください。
- コンピューターがネットワークに接続されていることを確認してください。
- サーバがインストールされているコンピューターの電源が入っていることを確認してください。
- Vitrolife サポートチームまでお問い合わせください。

サーバへの接続が再確立されると、ログイン画面に以下のメッセージが表示されます。



図 8: ログイン画面の ”Connected to database”（データベースに接続）メッセージ

これでログインしてデータの表示または編集を続けることができます。

接続が失われたときにデータを編集中であった場合、接続が再確立されると、EmbryoViewer ソフトウェア上でデータに加えられた変更はローカルコンピューターで引き続き使用できます。但し、データは自動的には保存されません。したがって、手動でデータを保存する必要があります。

警告
• サーバと接続されていない状態で EmbryoViewer ソフトウェアがシャットダウンされた場合、データはローカル データベースに保持されません。この場合、未保存のデータは失われます。

同様に、インキュベーターに統合されたソフトウェアが接続されていないときにシャットダウンした場合、インキュベーター内の保存されていないデータは、サーバへの接続が失われた後も引き続き使用できます。

8 マークとラベル

ラベル	説明	注記
	製造元による、本デバイスが医療機器規則 (EU) 2017/745 の該当する要件すべてを満たしていることの宣言	-
	医療機器	-
	機器固有識別子	-
	製造元の名称と住所	第 10 項参照。

9 廃棄物の処理

電気および電子機器の廃棄物を最小限に抑えるため、廃棄物はすべて、指令（EU）2018/849 によって修正された電気および電子機器廃棄物（WEEE）に関する欧州議会および理事会指令 2012/19/EU に従って処理してください。廃棄物には、PCB（無鉛 HASL）、スイッチ類、PC バッテリ、プリント基板、外部電源ケーブルなどがあります。本製品には RoHS 2 指令 2011/65/EU（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル（PBB）、ポリ臭化ジフェニルエーテルの電気および電子機器への使用を禁じる指令）に準拠した部品のみ使用しています。

10 連絡先情報

緊急時には、無料直通電話サービスをご利用ください：

+45 7023 0500

（24 時間年中無休で対応しています）

電子メールによるサポート：support.embryoscope@vitrolife.com

（2 営業日以内にご返信いたします）

Vitrolife A/S
Jens Juuls Vej 16
DK-8260 Viby J
Denmark

電話：+45 7221 7900

ウェブサイト： www.vitrolife.com

VITROLIFE A/S, DENMARK